

浜田市保育連盟主催研修会

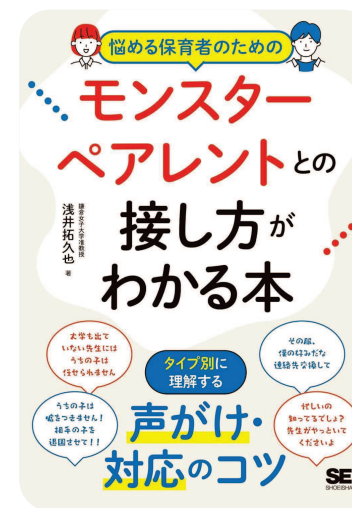
# 不適切な保育に対する考え方と予防方法

浅井拓久也

(鎌倉女子大学 / t-asai@kamakura-u.ac.jp)

# 講義の概要

- この講義では、不適切な保育とは？なぜ不適切な保育が起こるか？どうやって予防すればよいか？の3つを講義します。
- スライドに出典の記載がない場合は以下の拙著が出典です。





## 【GW】これは不適切な保育？

- 最近、あるいはこれまでの自分や同僚の保育の中で、「これは不適切な保育だろうか」と思ったり迷ったりするような保育はありましたか？また、自分自身は「不適切な保育」とはどのような保育だと考えていますか？

# これほど保育がやりにくい時代はない

- 保育に対して社会が厳しい眼差しをもつようになっている

仕組み：保育に関するネガティブな報道 → 厳しい眼差し + よくなったことやそもそもよいことは報道されない → 新たな事例が報道 → ますます厳しい眼差し

- 仕組みはなくなる？社会が忘れた頃にすごい事例がでてくる。ゆえに、いつまでたっても厳しい眼差しがなくなる。

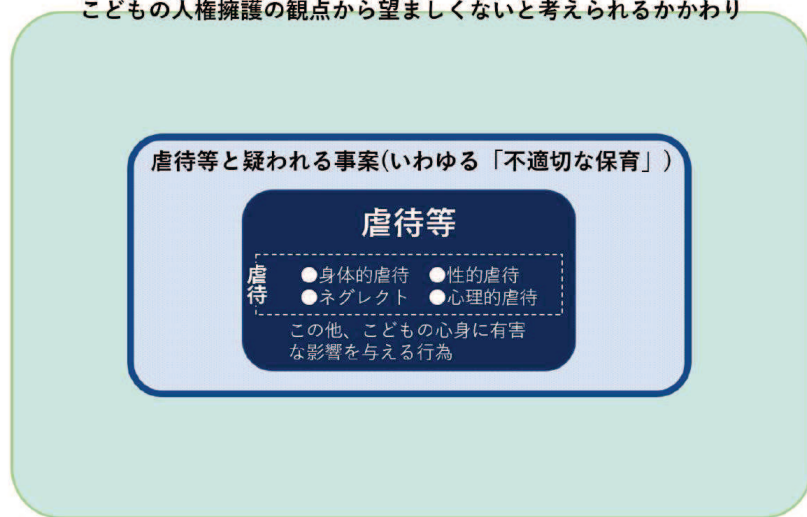
事例：「園児を逆さづりや羽交い絞め」「男児の首を切りつけた」「未就学の女兒にわいせつな行為」「机や床に落ちた物を食べさせた」

# そもそも不適切な保育とは？

## ● 2023年

- ① 不適切な保育 = 虐待！ + 虐待？
- ② 子どもに好ましくない関わり

こどもの人権擁護の観点から望ましくないと考えられるかわり



## ● 2025年

- ① 虐待とそれ以外
- ② 2023年の①②を使用してもよい



出典：こども家庭庁「保育所等における虐待等の防止及び発生時の対応等に関するガイドライン」（2023年）

出典：こども家庭庁「保育所や幼稚園等における虐待の防止及び発生時の対応等に関するガイドライン」（2025年）

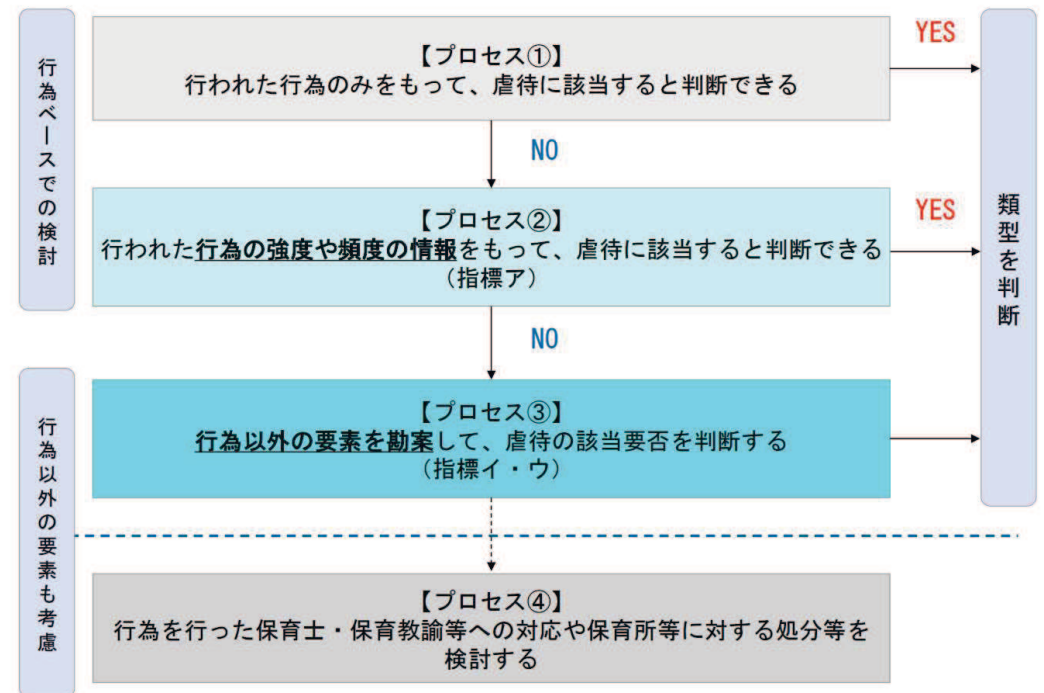
# どうやって虐待と判断するか？

## ● 判断プロセス

- ① 一発アウト
- ② 行為の強度や頻度
- ③-1 保育者の意図
- ③-2 子どもの状況・影響

## ● (補論) . . . ? !

「たとえばコミュニケーションの一環で頭にポンポンと手をのせることは、虐待には該当しない可能性が高い」



# なぜ不適切な保育が起こるか？その原因は？

- 不適切な保育の原因になりやすい7つの要因

- ① 個人の要因：知識・技術・意欲・体調

- ② 組織の要因：ルールや仕組み・人間関係・物理的な環境

- 保育に関するあらゆる問題でこの7つが原因である可能性大

事例：複数担任で5歳児クラスを担当する新人保育者N。保護者からの依頼や相談を忘れてしまうことが多く、保護者からも不安視されています。園長Zは、保護者対応は難しいからあまり落胆しないこと、次はミスをしていないように心がけることを伝えた。

# なぜ原因分析が大事なのか？

- 原因根絶なくして不適切な保育根絶なし！

「おなかが痛い、じゃあ正露丸を飲もう」という発想だと、無限の対策ループが発生することになる。保育者の疲弊へ。解決策の模索ではなく原因の発見や原因と対策のマッチングに時間を使う。

- 自分・自園が原因根絶の風土や意識があるか簡単にわかる方法

事例：昼食を終えて午睡が始まった。布団に横になった3歳児・Aくんの口がもぐもぐ動いていた。保育者が体を起こして口の中を確認すると、昼食で食べたみかんの皮があった。今後は午睡前に子どもの口の中を確認するよう徹底する。



## 【GW】 どのような取り組みをしている？

- みなさんの園では不適切な保育を予防するためにどのような取り組みをしていますか？また、みなさん自身は不適切な保育を予防するためにどのような工夫や注意をしていますか？

# どうやって不適切な保育を予防するか？

- ダメな方法の1つが、〇×式のチェックリストを使って保育を点検すること。このような方法で保育の適否を判断することはあまり意味がない。その理由は後ほど。
- 不適切な保育の予防につながる方法は次の5つ。
  - ① 社会・時代の空気・雰囲気に合わせてる。
  - ② 子どもの性格や発達を知る。
  - ③ 親の性格や意向を知る。
  - ④ 自分のことを知る。
  - ⑤ 職員同士の間人間関係をよくする。

# 絶対ダメ！〇×チェックリストによる点検

- 保育の難しさは「条件」「状況」によって適否が変わるから  
「自分から訴えてトイレに行くことができるようになった子どもに対して、「おしっこ出ない」と訴えていても、トイレに行くように促す。」（全国保育士会）
- こども家庭庁にディスられるチェックリスト  
「保育士会チェックリストの「『良くない』と考えられるかかわり」の5つのカテゴリーの具体的なかかわりの中には、不適切な保育とまではいえないものも含まれており、当該カテゴリーと不適切な保育とを同じものとして解することは必ずしも適当ではない。」（こども家庭庁）

出典：全国保育士会「保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト」（2017年）  
出典：こども家庭庁「保育所等における虐待等の防止及び発生時の対応等に関するガイドライン」（2023年）

# 社会と子どもを知る：社会・時代・発達の知識が大事

- ① 自分が育ってきた社会・時代といまの社会・時代は違う

いまの社会・時代の方が子どもに対する権利意識が高まっている。これまで認められたことが認められなくなっている。いまの社会や時代の価値観や雰囲気を知り合わせる必要がある。

- ② 子どもの発達に関する知識は保育者の心理的なゆとりにつながる

子どもの性格と発達を知る。子どもがなぜそうなのかがわからないとイライラするので、不適切な保育につながりやすい。発達の知識は子どもの現状とその後の展開を教えてくれるので保育者の心理的なゆとりにつながる。



## 【GW】話が噛み合わないときは？

- 同僚や保護者と話をする際、話がかみ合わない、話を通じない、話が理解できないときはどのような対応をしていますか？会話や話し合いを円滑にするために工夫していることは何ですか？

# 親を知る：特に親の立場と当然を知る

- ③ 親の性格や意向を理解しておかないとキケン

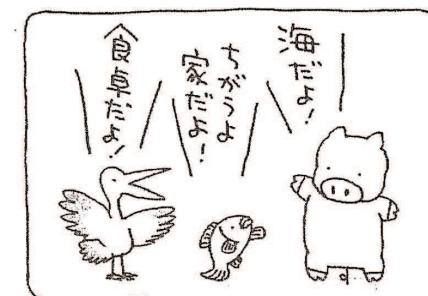
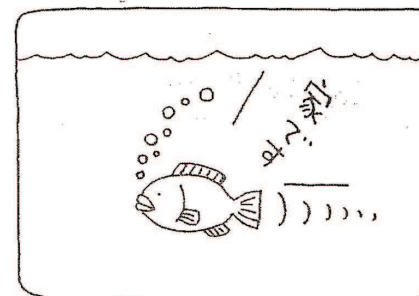
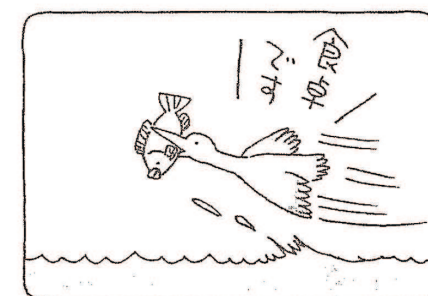
「園であれどこであれ子どもは怪我をするもの」と考えている親と、「園で怪我をするなんてありえない」と考えている親では、不適切な保育に対する姿勢が異なる。そのため、親の性格や意向を理解しておく必要がある。

- 親と保育者は立場や当然が異なるので噛み合わないこともある

「それは不適切な保育ではないか」と保護者から指摘され、様々な説明をしても保護者が納得しなかったり話が噛み合わなかったりするようなら、保護者と自分（保育者）それぞれの立場や当然に着目してみる。

# 保護者の立場から考える

- 保護者と保育者は立場が異なる。そのため、イラストのように同じものを見ていても判断が異なることがある。
- 保護者と話が噛み合わない際は、保護者の立場に立って考えてみる。どのような見方をしたら保護者の言い分につながるかをあれこれ想像する。あれこれ想像を巡らせているうちに冷静にもなれる。



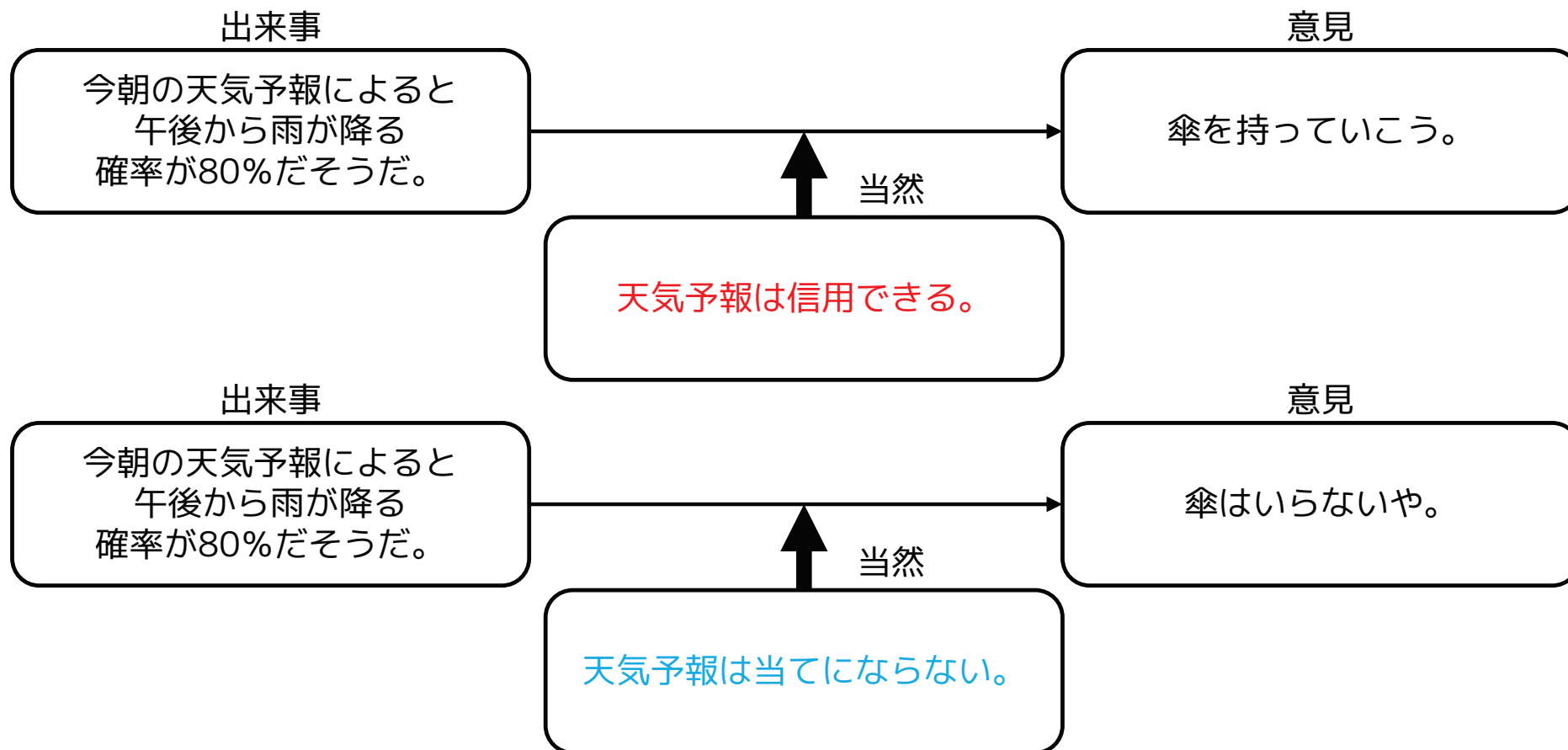
# 保護者の当然を考える

- 保護者と保育者は立場が違うので、それぞれの【当然】が違うかもしれないと考えることで道が開けることがある。【当然】とは、自分が無意識にもっている常識、価値観、前提、あたりまえ。同じ【出来事】に遭遇しても【当然】が違くと【意見】が変わる。

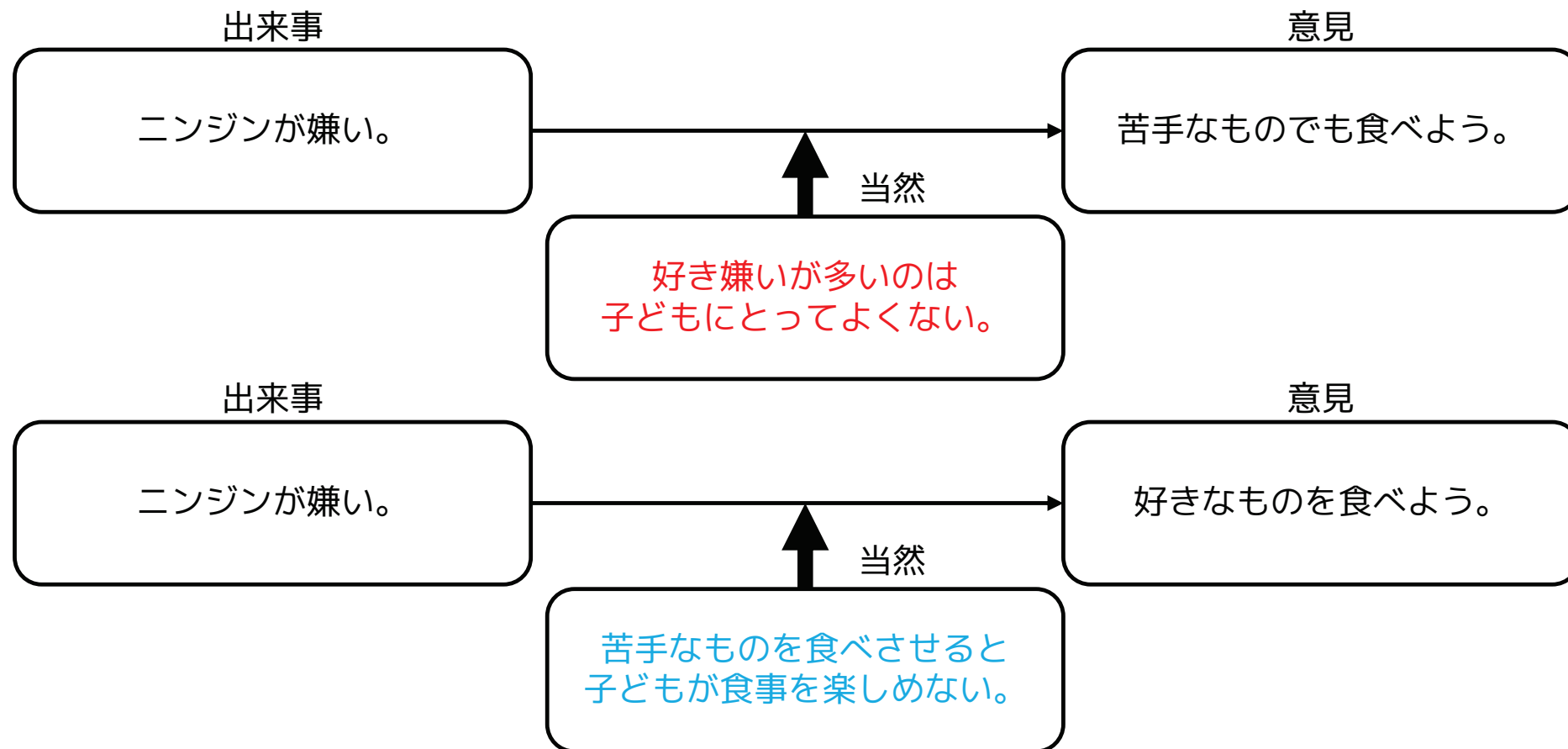
事例：今朝の天気予報によると午後から雨が降る確率が80%だそうだ。Aさんは「傘を持っていこう」、Bさんは「傘はいらないや」と言う。

事例：5歳児Kはニンジンが嫌い。保護者は「苦手なものでも食べさせてほしい。」と言うが、保育者は「ニンジンを食べなくてよいから好きなものを食べたらいいよ。」と言う。保護者は「この保育者はきちんと保育をしていない！」と言う。

# 保護者の当然を考える



# 保護者の当然を考える



# ああ！？艦長ブチキレ！実は・・・

- 訓練艦隊に属する2隻の戦艦が、悪天候の中、軍事演習のため数日間にわたり航海を続けていた。私は先頭を行く戦艦のブリッジで夕暮れを迎えた。視界が悪く断片的に霧がかかっていたため、艦長もブリッジに残り、状況を見守っていた。暗くなってから間もなく、ブリッジの見張りが次のように報告した。「艦首の右舷側の進路に光が見えます」「停止しているのか、船尾の方向に動いているのか」と艦長。見張りの答えは、「停止していません、艦長」。つまり、その船はこちらの進路上にあり、衝突の危険があるということだった。艦長は信号を手に命じた。「その船に対し、信号を出せ。衝突の危険があるため、20度進路を変更せよ、と」。相手からの信号が返ってきた。「そちらの方が20度進路を変えるよう助言する」。

# ああ！？艦長ブチキレ！実は・・・

- 艦長は再び命令した。「信号を送れ。私は艦長だ。20度進路を変えるように」。すると、「こちらは2等水兵だ。そちらの方こそ20度進路を変えるように命令する」と返事が返ってきた。艦長は怒り出し、「信号を送れ。こちらは戦艦だ。20度進路を変えろ」と叫んだ。点滅する光の信号が返ってきた。「こちらは灯台である」。我々は進路を変えた。



出典：スティーブン・R・コヴィー『7つの習慣－成功には原則があった！』（キングベアー出版・1996年）



## 【GW】自分の「不」を知る

- みなさんは保育や保護者対応の際にどのような場面で不安や不快、不満や不信を感じますか？そのような感情が起こった際はどのような対応をしていますか？

# 自分を知る：自己覚知の大切さを理解する

- ④ 自分のことを知る = 自己覚知が大事

自分はどのようなことを当然・当たり前だと思っているのか？どのようなものの見方をしがちか？つまり、自分の当然・自分のものの見方を知ること。省察より対話&違和感を大事にする。

- 自己覚知の中でも自分の「イラ・ム・カット」をしっかりと認識する

保育中の「イラ・ム・カット」を認識し、子どもとの関わりの前につぶせることはつぶすこと。「イラ・ム・カット」に対する事前の対策が子どもに対する不適切な関わりを予防するための勘所でもある。

# よい人間関係なくして不適切な保育根絶なし！

## ● ⑤ 職員同士の人間関係をよくする

職員同士の人間関係をよくするキーパーソンはリーダー。人間関係をよくするためにリーダーがすべきことは、保育者の物理的なゆとりを作ることと、心理的なゆとりを作ること。

## ● 物理的なゆとりと心理的なゆとりの作り方

- ・ 業務の無駄を省く。「やめる」「減らす」「まとめる」。
- ・ 自分から声をかける。雑相型リーダーシップで心理的安全基地になる。
  - 1 ネタは何でもOK。中身より話すことが大事。
  - 2 見返りを求めない。反応が希薄でも気にしない。
  - 3 長く&1回より、短く&何回も!単純接触効果。

## 結局、大事なことは何かということ？

- みんなで考え合い、総合的に判断する

「各行為類型の具体例としては下記のとおりである。なお、これらはあくまで例であり、また、明らかに虐待と判断できるものばかりでなく、個別の行為等について考えたとき、虐待であるかどうかの判断しづらい場合もある。そうした場合には、保育所等に通うこどもの状況、保育所等の職員の状況等から総合的に判断すべきだが、その際にも、当該こどもの立場に立って判断すべきことに特に留意する必要がある。」「個々の振り返りや職員間のミーティング等における対話を通じて保育の実践をとらえなおし、保育の専門職としてさらなる保育の質の向上を目指すことが重要である。」

## 【参考】ガイドライン掲載の事例その1

- 3歳児のこどもが、苦手なものを食べることを嫌がったため、苦手を克服させる意図で、繰り返し食べるよう促していた。しかし、こどもが引き続き嫌がり、席を立とうとしたため、席に連れ戻して、そのこどもを大声で注意し、こどもの口元に苦手なものが乗ったスプーンを当てると、こどもは嫌々ながらそれを食べた。その後も、保育士はそのこどもが嫌々食べていることを知りながら、同様の行為を毎日のように繰り返した。しばらくして、保護者から、「給食の時間が嫌で、こどもが保育園に行きたがらなくなった。」と相談があった。

## 【参考】ガイドライン掲載の事例その2

- 4歳児のこども同士のけんかにより、こどもの1人が興奮して室内を泣きながら暴れまわっていた。保育士は、けんかを制止するとともに、暴れるこどもを言葉で諭そうとしたが、それでも収まらなかったため、こどもを落ち着かせる目的で別室に連れ出し、鍵は閉めずにしばらく1人きりにした。保育士は、数分したらこどもの元に戻るつもりでいたが、他のこどもに対応していたため、戻ることを失念してしまい、結果として、そのこどもは20分間別室で1人泣き続けることとなった。慌てて別室に戻った保育士は、こどもに対して、1人きりにしたことを謝った。その後は、こどもも落ち着き、いつも通り、友だちと過ごしていた。降園時には、保護者に上記のことを伝えるとともに、翌日の登園時も、改めてこどもの様子を確認したが、家庭でも特に変わった様子は見られなかったとのことだった。

## 【参考】ガイドライン掲載の事例その3

- 5歳児のこどもが、保育士Aの指示を守らずに、勝手に戸外に出て、砂場で遊び始めたため、保育士Aは「勝手に出てはだめだよ」と叱った。それに対して、こどもは「だって、〇〇先生はいいって言ったもん」と別の保育士Bの名前を出して言い返し、そのまま遊び続けようとした。保育士は、こどもが言い訳をし、自分の指示に従わなかったことに苛立ちを覚え、もっと厳しく叱らないと大人としての示しがつかないと思った。そこで、他のこどもと離れた場所で、そのこどもを自分の近くに立たせ、指示を守らなかったことを執拗に叱り続けた。叱られている間、こどもは特に泣いたりすることはなく、その後も、いつも通り、他の友だちと遊ぶ様子が見られた。また、次の日以降も、通園を嫌がる様子は見られなかった。